

よくわかる！

市町村財政分析基礎講座

自治体の財政を学ぶことは、自分たちの自治体の課題をトータルにとらえる力、そのために考える力や能力を養うということです。自分たちのまちを自分たちで考えるために、自治体の財政を知ることが不可欠です。

当講座では、自治体財政の一般論ではなく、ご自分の自治体の財政状況を知るための方法を学ぶことができます。

「財政は苦手…」という方も、「習うより慣れろ」の大和田流財政分析法なら、繰り返すことにより、理解が進みます。まずは、初めの第1歩を！

◆日時 ① 2022年10月13日(木), 14日(金)

② 2022年10月18日(火), 19日(水)

③ 2022年11月9日(水), 10日(木)

◆時間 1日目 13時～19時00分 2日目 9時15分～15時

※①②③とも同じ(2日目終了後、16時頃まで質疑や演習が可能です。)

◆会場 財政デザイン研究所(東京都日野市)

JR中央線日野駅下車徒歩7分

◆講師 大和田 一紘(NPO法人多摩住民自治研究所理事)

◆受講料 27,000円(税込、以下同様)

【割引】 ・再受講 25,000円

・町村議員 24,000円

・多摩研会員 22,000円

・多摩研新規入会 21,000円※

※「多摩研新規入会」の方には別途、年会費(12,000円)をいただきます。

◆宿泊 宿泊は、各自でお手配ください。

(お申込みをいただいた方には、立川・日野駅周辺のホテル等案内を送付いたします。)

◆テキスト 『五訂版 習うより慣れろの市町村財政分析』

(大和田一紘・石山雄貴・菊池稔 著、2,860円、自治体研究社)

◆申込方法 下記の申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはe-mailでお申込みを。

または、下記URLかQRコードにアクセスし、申込フォームよりお申込みを。



受講日 ① 10月13日(木)・14日(金) ② 10月18日(火)・19日(水) ③ 11月9日(水)・11月10日(木) ※いづれかにチェック

氏名 電話 携帯

住所 〒 e-mail

領収書宛名

※ 政務活動費をお使いの方は正確にご記入ください。

割引 再受講 町村議員 当研究所会員 当研究所新規入会

テキスト事前購入 希望する 希望しない 当研究所の催し等案内 e-mail 郵送 希望しない

NPO法人 多摩住民自治研究所

〒191-0016 東京都日野市神明3-10-5 エスプリ日野103

Tel:042-586-7651 Fax:042-514-8096 E-mail:tamajitiken1972@space.ocn.ne.jp

URL:http://www.tamaken.org/

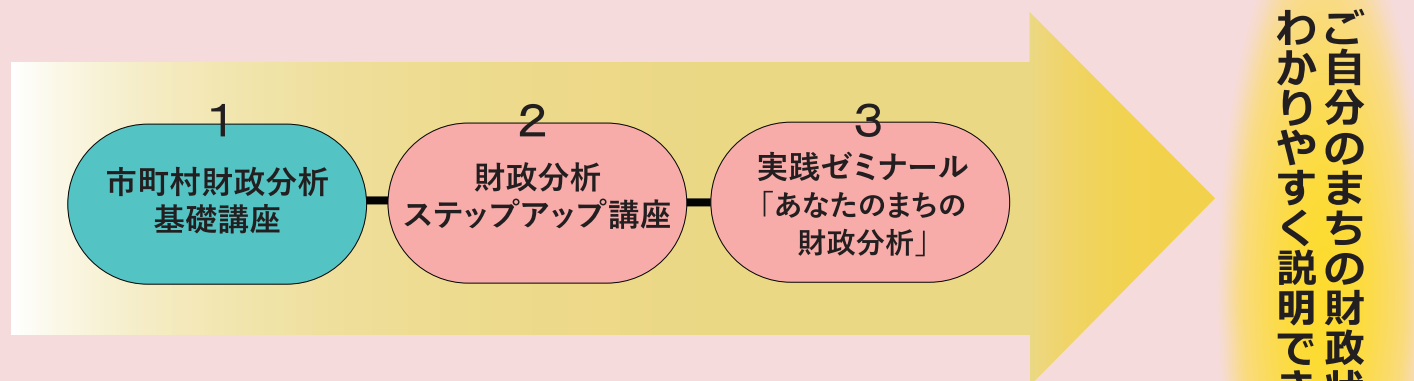
2022年度の決算議会にいかにか臨みましたか。コロナ禍の決算を通して、2023年度予算が財政民主主義に則ったものになることを期待したいものです。コロナ禍では、補正予算等で臨時対応を迫られましたが、それが常態化してしまわぬよう、今あらためて地方自治法がえがく財政運営の学習が必要ではないでしょうか。

コロナ後の財政危機をどのように乗り越えられるのかという問題意識に立って、この講座に参加してみませんか。

講座の特徴

- ◆ご自分の自治体の財政状況を把握するためには、自治体財政の概論をいくら学んでもなかなかわかりません。ご自分の自治体の財政状況を知るための方法を丁寧に解説します。
- ◆総務省が公表している各自治体の「決算カード」、「類似団体比較カード」や「財政状況資料集」の読み方を学びます。自治体財政データの見方の基本を習得します。
- ◆ご自分の自治体の実際の財政データを使用し講義を進めるので、学びながら、ご自分のまちへの関心が広がっていくプログラムです。
- ◆講師の他にベテランのアシスタントがいるので、小さな疑問や不明な点も、気軽に質問でき、フォローが充実しています。
- ◆もう一度、基礎講座を受講して理解を深めたい…そんな時は再受講割引価格で受講できます。

最終的には— ご自分の自治体の財政状況を、各種データをわかりやすくまとめることにより、説明ができるようになることを目指しています。



1.市町村財政分析基礎講座（このチラシの講座です）

ご自分の自治体の財政状況を把握するために、主に総務省が公表している決算カード、類似団体比較カードや財政状況資料集のどこに何が記載されているのかを学習します。

2.財政分析ステップアップ講座

基礎講座で学んだことを基に、ご自分の自治体の財政データを長期的なスパン（約10年程度）で捉えることにより、ご自分の自治体の財政状況の分析方法を学びます。

3.実践ゼミナール「あなたのまちの財政分析」（少人数制）

1と2の講座で学んだことをベースに、実際にご自分の自治体の財政状況を発表してもらいます。アウトプットすることにより、より理解が深まり、また相手に伝わりやすい方法を学びあいます。

ご自分のまちの財政状況を
わかりやすく説明できるように！